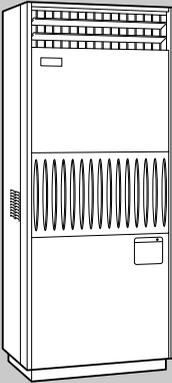


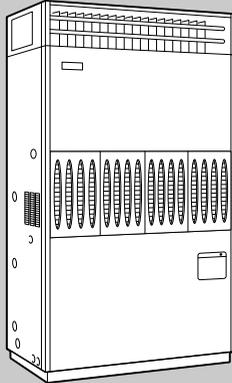
三菱重工 パッケージエアコン

取扱説明書

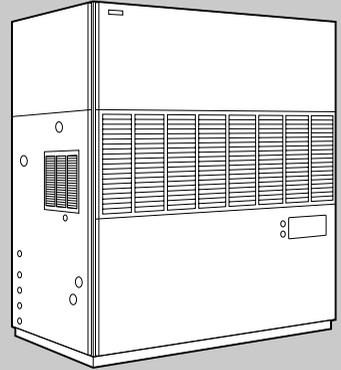
ASP150DC1
ASP150DCT1



ASP212DC1
ASP300DC1



ASP425DC1
ASP600DC1



このたびは三菱重工パッケージ
エアコンをお買い上げいただき
まことにありがとうございます。
た。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、
正しくご使用ください。

お読みになったあとは保証書とともに大切に保管
してください。万一、ご使用中にわからないこと
や異常が生じたとききつとお役にたちます。

なお、この説明書は標準仕様として記載してあり
ます。お客様のご希望などにより仕様を変更して
使用される場合は試運転引き渡し時に販売店より
説明がありますので、その説明に従ってください。

も く じ

安全上のご注意……………	1	点検表示灯が点灯したときは……………	14
各部の名称とはたらき……………	5	据え付け・移設・点検整備について……………	14
操作部の名称とはたらき……………	7	保証とアフターサービスについて……………	16
運転のしかた……………	8	運転範囲……………	17
上手なご使用のしかた……………	10	仕 様……………	18
お手入れのしかた……………	11	高圧ガス保安法に関する事項……………	20
サービスを依頼される前に……………	13	電気ヒータの取り付けに際して……………	21

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、「△警告」、「△注意」に区分していますが、誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に「△警告」の欄にまとめて記載しています。しかし、「△注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 本文中に使われる“図記号”の意味は次のとおりです。

	絶対に行わないでください。		必ず指示に従い、行ってください。		必ずアース線工事を行ってください。
--	---------------	---	------------------	---	-------------------

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

■据え付け上の注意事項

△警告

据え付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。加湿器、電気ヒータなどの別売品は、必ず、当社指定の製品を使用してください。また、取り付けは専門業者に依頼してください。



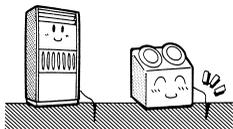
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。



ご自分で取り付けをされ不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。

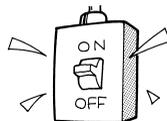
⚠ 注意

アース工事を行ってください。



アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

： 漏電遮断器の取り付けを必ず行ってください。



： 漏電遮断器が取り付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わないでください。



万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。

： 強風の影響を受けやすい地域では、転倒防止工事を行ってください。



： 室外ユニットの転倒につながり、ケガの原因になることがあります。

エアコンの重量に十分に耐えられる場所に確実に設置してください。

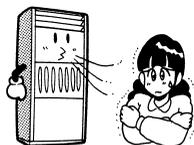


据え付けに不備があるとユニットの転倒・落下につながり、ケガの原因になることがあります。

■ 使用上の注意事項

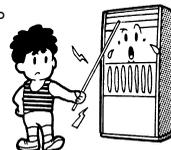
⚠ 警告

長時間冷風を身体に直接あてたり、冷やし過ぎないようにしてください。



体調悪化や健康障害の原因になります。

： 空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないでください。



： 内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になります。

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切り、お買い上げの販売店にご相談ください。



異常のまま運転を続けると故障や感電、火災などの原因になります。

： 洪水、台風など天災でエアコンが水没したときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

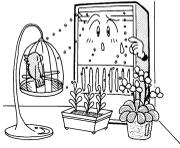


： 運転をすると故障や感電、火災などの原因になります。

⚠ 注意

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など
特殊用途に使用しないでください。

濡れた手でスイッチを操作しないでください。

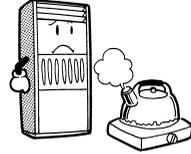
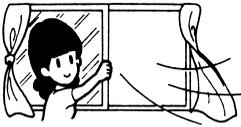


食品の品質低下などの原因になることがあります。

感電の原因になることがあります。

燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気してください。

エアコンの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないでください。

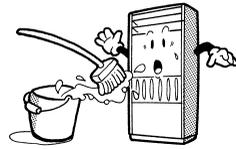
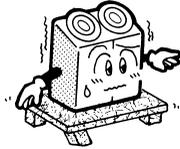


換気が不十分な場合は、酸欠事故の原因になることがあります。

燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

長期使用で据付台などが傷んでいないか注意してください。

エアコンを水洗いしないでください。

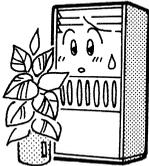


傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながりケガの原因になることがあります。

感電の原因になることがあります。

動植物に直接風が当たる場所には設置しないでください。

掃除をする時は必ず運転を停止して、電源スイッチを切ってください。

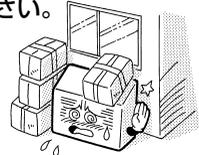


動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になることがあります。

正しい容量のヒューズ以外は使用しないでください。

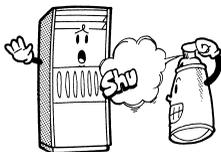
室内ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。



針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

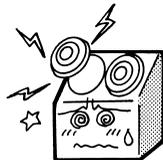
落下や転倒などによりケガの原因になることがあります。

可燃性スプレーなどをエアコンの近くに置いたりエアコンに直接吹きかけないでください。



発火の原因になることがあります。

： 吹出グリルを外して使用しないでください。



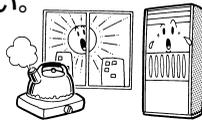
： ケガの原因になることがあります。

電源スイッチによるエアコンの運転や停止をしないでください。



火災や水漏れの原因になることがあります。

： 室内ユニットの近くで湯沸器等の器具を使用しないでください。



： 蒸気を発生する器具を近くで使用すると、冷房運転時水滴が落ちたり、漏電・短絡の原因になることがあります。

室内ユニット内部の洗浄はお客様自身では行わず、必ずお買い上げの販売店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談してください。



誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水漏れなどの原因になることがあります。また、洗浄剤が電気品やモーターにかかると故障や発煙・発火の原因になることがあります。

■ 移設・修理時の注意事項

⚠ 警告

改修は絶対にしないでください。また、修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所が確実に修理されたことをサービスマンに確認してください。

： エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。



： 据え付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

各部の名称とはたらき

室内ユニット

〔本図は直吹き形を示します。ダクト形は吹出室がなく〕
上部ダクト接続となります。〕

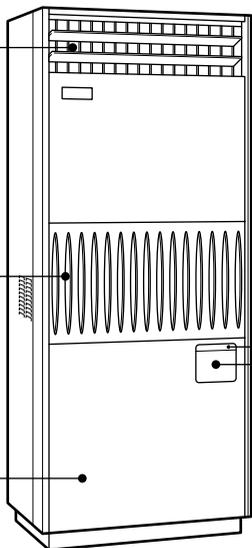
● ASP150DC1, 150DCT1

- 吹出グリル
冷温風はここから出ます。(温風は別途ご注文により加熱器を取り付けた場合のみ作用します)

- 吸込グリル
室内の空気を吸い込みます。

- エアフィルタ(裏面)
吸い込まれた空気からホコリやゴミを除きます。

- 圧縮機
(内部にあります)



吹出室

〔ASP150DCT1
にはありません〕

● 点検表示灯

● コントロール装置
運転つまみ、温度調節つまみ
はここにあります。

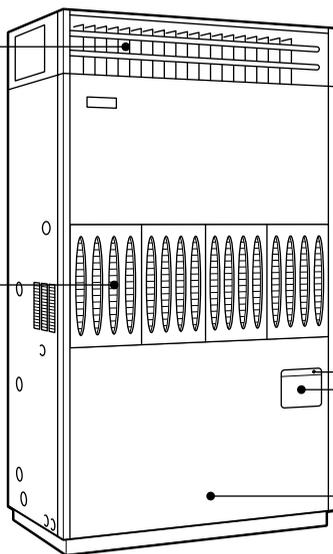
● ASP212DC1, 300DC1

- 吹出グリル
冷温風はここから出ます。(温風は別途ご注文により加熱器を取り付けた場合のみ作用します)

- 吸込グリル
室内の空気を吸い込みます。

〔212DCは4枚〕
〔300DCは5枚〕

- エアフィルタ(裏面)
吸い込まれた空気からホコリやゴミを除きます。



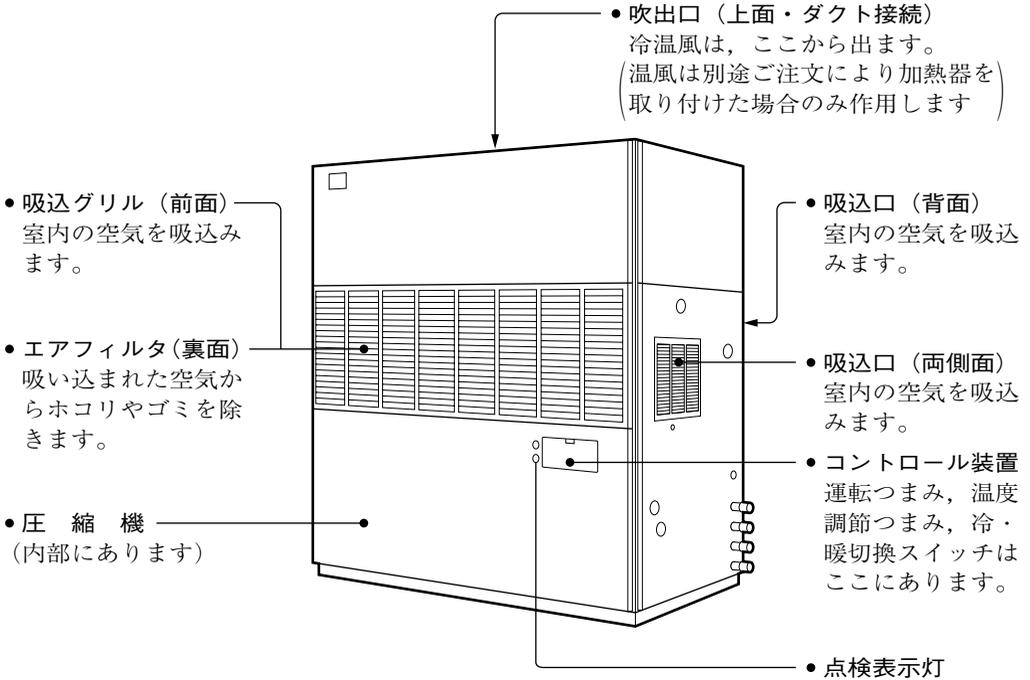
吹出室

● 点検表示灯

● コントロール装置
運転つまみ、温度調節つまみ
はここにあります。

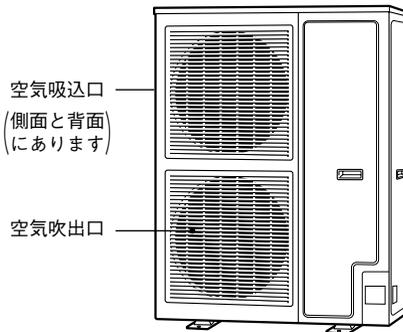
● 圧縮機
(内部にあります)

● ASP425DC1, 600DC1

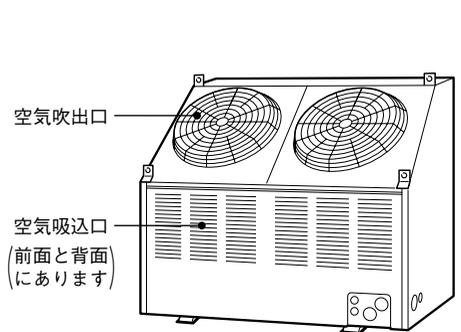


室 外 ユ ニ ッ ト

● AUCP150DC1



● AUCP212DC1, 300DC1

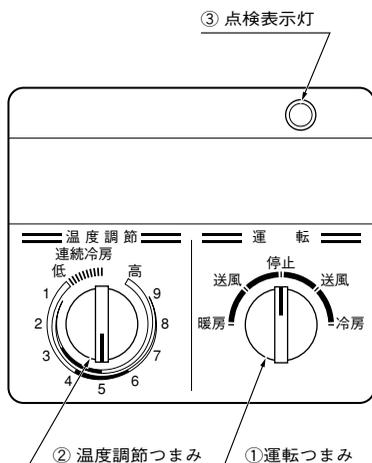


(注) 室内ユニットASP425DC1 (ASP600DC1) ・ 1 台当たりと接続する室外ユニット
はAUCP212DC1 (AUCP300DC1) ・ 2 台との組み合わせになります。

操作部の名称とはたらき

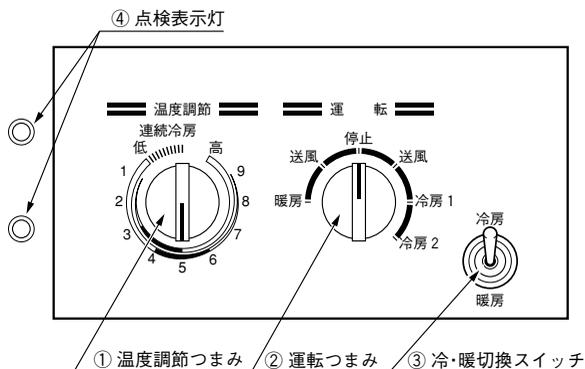
コントロール装置のカバーを開けますと下図のつまみがあります。

ASP150DC1, 150DCT1
ASP212DC1, 300DC1



- ① **運転つまみ**……………エアコンの運転を「停止」「送風」「冷房」のいずれかに切り換えるためのつまみです。
本機は冷房専用機です。「暖房」は別途「電気ヒータ」などをお取り付けされたときに使用できます。
- ② **温度調節つまみ**…お部屋の温度を調節するためのつまみです。
- ③ **点検表示灯**……………エアコンに異常が発生したとき点灯します。

ASP425DC1, 600DC1



- ① **温度調節つまみ**……………お部屋の温度を調節するためのつまみです。
- ② **運転つまみ**……………エアコンの運転を「停止」「送風」「運転」に切り換えるためのつまみです。
- ③ **冷・暖切換スイッチ**……スイッチを「冷房」に合わせますと冷房運転になります。本機は冷房専用機です。「暖房」は別途ご注文により加熱器を取り付けた場合のみ作用します。
- ④ **点検表示灯**……………エアコンに異常が発生したとき点灯します。

運転のしかた

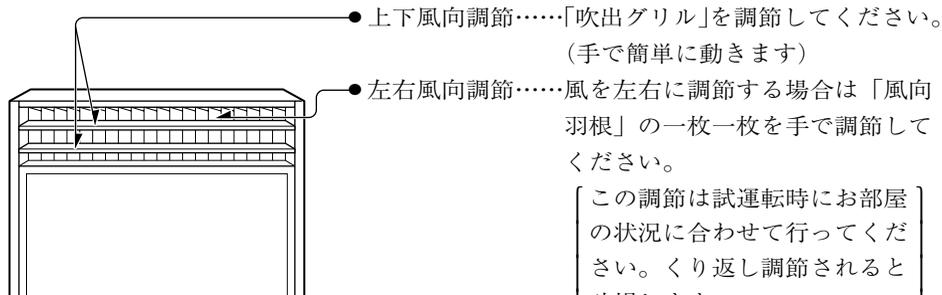
お願い

シーズンの初めや長時間停止後に運転するときは、エアコンを保護するため運転開始の12時間前に電源スイッチを入（ON）にしてください。
また、シーズン中は電源スイッチを切らないでください。

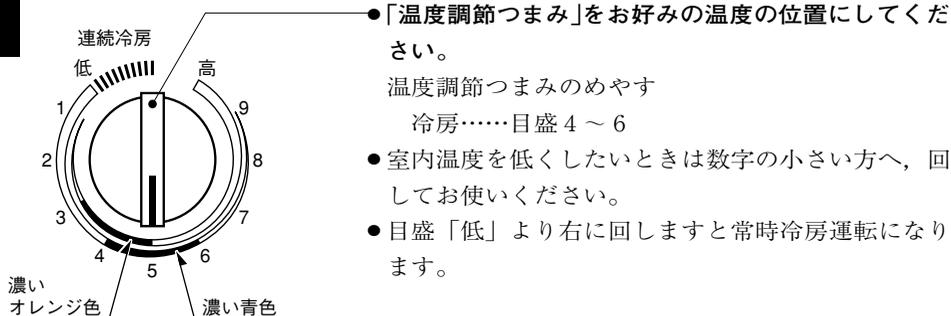
● ASP150DC1, 150DCT1, 212DC1, 300DC1

1 P150DC1, 212DC1, 300DC1

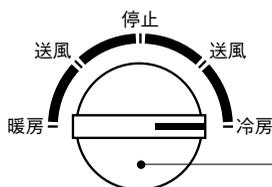
風向調節をしてください。



2 「温度調節つまみ」をお好みの温度の位置にしてください。



3 「運転つまみ」を冷房運転にします。



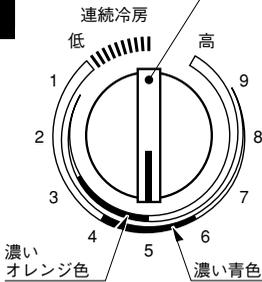
●ASP425DC1, 600DC1

1



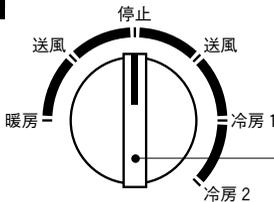
- 「冷・暖切換スイッチ」をいずれかの運転にします。
- 冷房
冷房運転をするときは「冷房」側に倒してください。
- 暖房
別途ご注文により加熱器を取り付けたとき暖房運転ができます。この場合「暖房」側に倒してください。

2



- 「温度調節つまみ」をお好みの温度位置にしてください。
- 温度調節つまみのめやす
冷房……目盛4～6
- 室内温度を低くしたいときは数字の小さい方へ、高くしたいときは数字の大きい方へ回してお使いください。
- 冷房時、目盛「低」より右に回しますと常時冷房運転になります。

3



- 「運転つまみ」をいずれかの運転にします。
- 停止
本機を止めるときは「つまみ」を「停止」の位置に合わせてください。すべての運転が止まります。
- 送風
「送風」の位置に「つまみ」を合わせますと室内送風機のみが運転して室内空気を循環します。
- 冷房1
「冷房1」の位置に「つまみ」を合わせますと室内送風機に加えNo1（左側）圧縮機およびNo1室外ユニットの送風機が運転して能力50%の冷房運転を開始します。
- 冷房2
「冷房2」の位置に「つまみ」を合わせますと「冷房1」に加え、さらにNo2（右側）圧縮機およびNo2室外ユニットの送風機も運転して、能力100%の冷房運転になります。
- 暖房
別途加熱器をお取り付けになった場合「暖房」の位置に「つまみ」を合わせますと暖房運転を開始します。

お知らせ

- 運転中に「温度調節つまみ」を数字の大きい方にしますと室外送風機・圧縮機の運転が停止することがあります。これは故障ではなく温度調節器が働いたためですから、その位置で使っていただくか3分後にご希望の位置にセットしなおしてください。



お願い

- 一度運転を停止し再び冷房運転するときは必ず3分間以上お待ちください。ただちに運転しますと過大な電流が流れ、安全装置が作動して点検表示灯が点灯することがあります。
- 運転中に停電した場合は「運転つまみ」をいったん「停止」に戻してください。停電しても気付かず「停止」に戻さなかった場合は通電時に点検表示灯が点灯し運転を行いません。このときはいったん「停止」に戻してから再び運転してください。
- ひんぱんな運転-停止（1時間に4～5回以上）を行わないでください。ひんぱんに行いますと圧縮機の故障につながる可能性があります。

上手なご使用のしかた

わずかなお心づかいで経済的で快適な運転ができます。

冷やしすぎは無駄です	熱の発生や侵入を少なく
冷やしすぎは健康によくありません。また、電力のむだです。 温度調節つまみでこまめに室温を調節してください。	<ul style="list-style-type: none">● 室内にはできるだけ熱源になるものを置かないでください。● 直射日光のあたる窓にはカーテン等日よけをしてください。● 窓や出入口は必要時以外は開けないようにしてください。
風向調節をじょうずに (除くダクト形ASP150DCT1, 425DC1, 600DC1)	エアフィルタの掃除はこまめに
室温のムラがなるべく少なくなるように上下の風向を調節してください。 ⚠警告 長時間冷風を身体に直接当てないでください。 体調悪化や健康障害の原因になります。	<ul style="list-style-type: none">● エアフィルタが目づまりすると風量が減少し冷房効果が落ちます。また電気のむだづかい、運転音も大きくなります。

お手入れのしかた

エアフィルタおよびドレンパンにホコリ・ゴミなどがつきまると空気の流れが悪くなり能力が低下したり排水管が詰まって水が漏れることがあります。

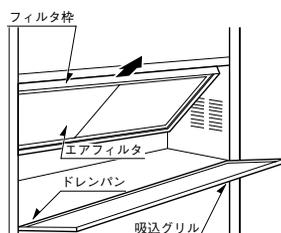
△注意 掃除をするときは必ず運転を停止して、電源スイッチを切ってください。
内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になることがあります。

エアフィルタの掃除

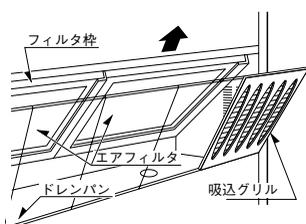
シーズン中は2週間に1回程度掃除してください。

はずしかた

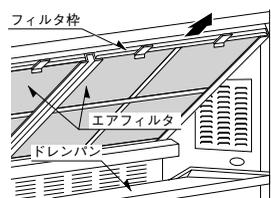
● P150形



● P212, 300形



● P425, 600形



「吸込グリル」(P212形は4枚、P300形は5枚)の上部を手前に引きますと上図のようにグリルが開きエアフィルタが見えます。(P212, 300形は吸込グリルを取外します)

エアフィルタとフィルタ枠は一体になっています。フィルタ枠をつまんで矢印の方向に引出せばエアフィルタが取出せます。

「吸込グリル」の上部のボルトを外し「吸込グリル」を外してください。

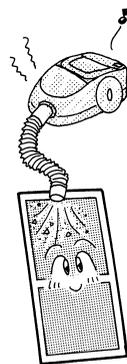
エアフィルタとフィルタ枠は一体になっています。フィルタ枠をつまんで矢印の方向に引出せばエアフィルタが取出せます。

掃除のしかた

電気掃除機をご使用になると簡単にホコリが落とせます。汚れがひどい場合は中性洗剤をとかしたぬるま湯(30℃位)でゆすぎ洗い、水洗いした後よく乾かしてください。

お願い

- 熱湯で洗わないでください。
- 火であぶって乾かさないうでください。
- 強く引っ張らないでください。フィルタが損傷します。



掃除が終わったら

お願い

エアフィルタをはずしたままで運転しますと機械にホコリがたまり故障のもとになります。必ずエアフィルタを取付けて運転してください。

ユニット各部のお手入れ

- やわらかい布で掃除してください。
- 特に汚れがひどいときはぬるま湯に溶かした中性洗剤でふきとってください。あとは中性洗剤をよくふきとっておいてください。

シーズン後には

- 電源スイッチを必ず切ってください。
- エアフィルタを掃除して取付けておいてください。
- 室内ユニット、室外ユニット共に掃除して汚れを落としてください。

シーズン前には

- 室外ユニットの吸込口、吹出口のまわりに風の障害になるものがないか確認してください。
 - エアフィルタが汚れていないか確認してください。
 - 「運転つまみ」が「停止」にされていることを確認し冷暖房運転開始12時間まえに電源スイッチを入れてください。
- 〔ユニットには停止中、冷媒が圧縮機内の油中に溶込むのを防ぐため、圧縮機にクランクケースヒータが取付けてあります。〕
- 電源投入後3分間は、圧縮機は起動しません。

定期点検一覧表

定期的に点検を行ってください。点検を行うときは、必ず「運転つまみ」を「停止」にし、さらに電源スイッチを切ってください。

点検項目	2週間ごと	1ヶ月ごと	1年ごと	備考
<ul style="list-style-type: none"> ● エアフィルタの清掃 ● ドレンパンの清掃 ● 前面カバーと外板の手入れ 	○ ○ ○			11ページ参照 11ページ参照 上記参照
<ul style="list-style-type: none"> ● 室外ユニットのコイルの清掃 ● 本機内部からの異常音 (室内ユニット・室外ユニット) ● サーモによる圧縮機の発停頻度 (運転10分以上、停止5分以上なら正常です) ● ファンベルトの張り ● アース線の外れ ● 電線皮覆の損傷および端子のゆるみ・外れ 		○ ○ ○ ○ ○		異常があると思われるときは販売店にご相談ください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 冷媒配管のガス漏れ ● 安全装置の点検 ● 電気回路の点検 ● ドレン配管の清掃 ● 能力の確認 			○ ○ ○ ○	

日常の心得

「点検表示灯」、各操作用「つまみ」などが割れたり破損していましたら販売店もしくはサービス業者にお申し出ください。

サービスを依頼される前に

アフターサービスをお申しつけになる前に次のことをご確認ください。

全然
運転
しない

停電ではありませんか。



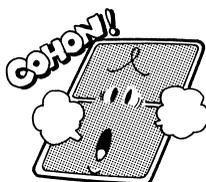
電源スイッチはON（入）になっていま
すか。



温度調節つまみの位置は適正ですか。

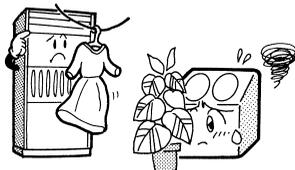


エアフィルタが汚れていませんか。

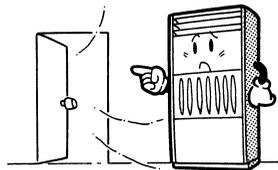


冷
え
が
悪
い

風の吸込口や吹出口に障害物ありませ
んか。



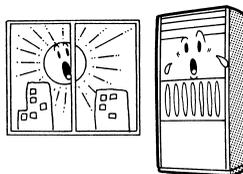
窓やドアが開いていませんか。



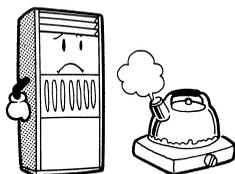
お部屋の人数が多すぎませんか。



お部屋に直射日光が当たっていませんか。



お部屋の中に思わぬ熱源がありませんか。



以上のことをお調べいただいても正常に運
転しないとき、また次のようなときにはエ
アコンの運転を止めてお買い上げの販売店
にご連絡ください。

- ヒューズやブレーカがたびたび切れる
とき
- 冷房運転中、水が漏れるとき
- 運転動作や運転音に異常があるとき

これは故障ではありません

- においについて……………室内ユニットからにおいが出るがありますが、これは、タバコ・体臭等の雑多なにおいの粒子が製品内に吸着されて吹き出すものです。



- 水の流れるような音をする……………運転開始時や運転途中（温度調節器による発停時など）に本機より「シュルシュル」「ゴボゴボ」という音が出るがありますがこれは冷媒の流れる音です。



点検表示灯が点灯したときは

点検表示灯（赤）が点灯したとき

「運転つまみ」を「停止」に戻し電源スイッチを切って13ページ参照のうえ故障の原因を除いてから再び運転してください。

（原因がわからないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください）

据え付け・移設・点検整備について

いつまでも安全・快適にご愛用いただくために、つぎのことにご注意ください。
据付工事は販売店に依頼しお客様ご自身ではなさないでください。

室内ユニット

据 付 場 所

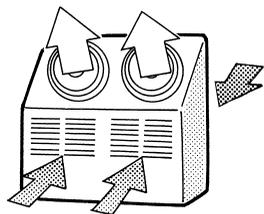
△注意 室内ユニットの吸・排気側をダクト接続して密閉構造の機械室へ設置すると、機械室が負圧になり扉の開閉ができなくなることがあります。

この場合、ガラリ等を設けて機械室を均圧にする対策が必要です。

室外ユニット

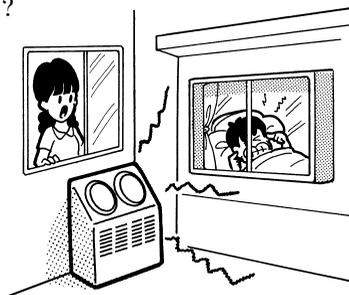
据 付 場 所

風通しのよい場所に据え付けられていますか？



障害物があると能力低下や運転音増大のもとになります。

風風や運転音が近隣の迷惑になっていませんか？



降雪・積雪地域でのご使用について

室外ユニットの据付場所は次のような処置をしてください。

- 降雪により室外ユニットの空気吸込口をふさいだり、雪が入り込んで内部で凍結しないよう「防雪フード」を掛けてください。
- 多雪地域では、積雪により空気吸込口をふさぐことがありますので、その地域の積雪量に応じて基礎を高くするか、予想される積雪量より50cm以上の高さの「架台」に室外ユニットを据付ける必要があります。



電 気 工 事

△注意 アース工事を行ってください。

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

△注意 漏電遮断器の取り付けを必ず行ってください。

漏電遮断器が取り付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。

電気工事・アース工事資格のある人が、電気設備技術基準にしたがって工事をしてください。

■エアコン専用の配線になっていますか？

転 居 や 移 設 の と き

△警告 エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。

据え付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

なお、取り外しや再据え付けには工事費がかかります。

点 検 整 備 に つ い て

ご使用状態や周囲の環境によっても変わりますが、エアコンを3年程度ご使用になりますと内部が汚れ能力が低下することがありますので、通常のお手入れとは別に点検整備が必要です。お買い上げの販売店とご相談のうえ保守契約（有料）をされるようお勧めします。

保証とアフターサービスについて

保証について（保証期間は、納入日から起算して1年間です。）

この製品には保証書が付いています。

- 保証書はお買い上げの販売店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中、万一故障した時は、お買い上げの販売店または指定のサービス店にご連絡ください。
保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。（保証期間経過後の修理は有償になります。）
保証期間中でも有償になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。
- 良好な状態で長く安心してご使用いただくために、お客様の行う日常点検（フィルタ清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。
標準的な保守点検の、「点検周期」および定期点検に伴う「保全周期」〔主要部品の交換・修理実施周期〕は、表-1を目安にされると便利です。また、代表的「消耗部品」の例を表-2に示します。
なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

■機器予防保全の目安

保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。

下記は、以下のご使用条件の場合です。

- ①頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
- ②製品の運転時間は、10時間/日、2,500時間/年と仮定しています。

また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

- ①温度・湿度の高い場所あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
- ②電源（電圧、周波数、波形歪み等）や負荷変動が大きい場所でご使用される場合。
- ③振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
- ④塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。

表-1. 「点検周期」及び「保全周期」の一覧表

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換又は修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換又は修理]
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モータ (ファン、ルーバ、ドレンポンプ用など)		20,000時間	バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間	センサー (サーミスター、圧力センサーなど)		5年
電子基板類		25,000時間	ドレンパン		8年

注(1)本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

この保全期間は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。

- 定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

補修用部品の保有期間について

このエアコンの補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年です。当社はこの基準により補修用部品を調達したうえ、修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。

■消耗部品の交換周期目安

交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。

表-2. 消耗部品の「交換周期」一覧表

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年	ヒューズ	1年	8年
高性能フィルター	—	1年	加湿器エレメント		5年
ファンベルト	1年	3年	クランクケースヒータ		8年

■アフターサービスご契約のおすすめ

当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守・点検を致します。万一の故障の時も早期に発見し適切な処置を行う事ができます。

■移設および廃棄について

- 転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- エアコンを廃棄される時は冷媒の回収などが必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。

運転範囲

お願い

次の運転範囲でお使いください。この範囲外で運転しますと、保護装置が働き運転できないことがあります。

条件 区分	室内温度は…	室外温度は…	室内湿度は…
冷房運転	<p>約21～32℃</p> <p>約21℃以下で長時間運転しますと機械に霜が付き、冷房運転ができませんことがあります。</p>	<p>約-15～43℃</p>	<p>約80%以下</p> <p>高い湿度で長時間運転するとエアコンの表面に露が付いて水滴が落ちたり、吹出口から煙のような霧が吹き出すことがあります。</p>

仕 様

ASP150DC1, 150DCT1, 212DC1, 300DC1

室内ユニット

(50/60Hz)

		単 位	ASP150DC1	ASP150DCT1	ASP212DC1	ASP300DC1
電 源			3相 200V 50/60Hz			
冷 房 能 力			13.2/15.0		19.0/21.2	26.5/30.0
圧縮用電動機		kW	3.75		5.5	7.5
送風用電動機			0.22	0.75		1.5
消費電力			6.25/7.76	6.55/8.16	7.03/8.45	9.72/11.9
運 転 電 流		A	19.8/23.0	21.5/24.4	23.8/26.5	33.7/35.8
運 転 音		dB	50/51	60/64	54/55	55/56
風 量		m ³ /min	45/45		68/68	90/90
外形寸法	高 さ	mm	1800	1700	1820	
	幅		875		1100	1360
	奥行		460		560	
	分割できる高さ		分 割 不 可			
製 品 質 量		kg	165	160	240	270
冷 媒 封 入 量			—		7.0 (R407C)	9.0 (R407C)

室外ユニット

(50/60Hz)

		単 位	AUCP150DC1	AUCP212DC1	AUCP300DC1
電 源			単相 200V 50/60Hz	3相 200V 50/60Hz	
送風用電動機		W	45+50	単相 100×2	
運 転 音		dB	51/52	56/56	
外形寸法	高 さ	mm	1250	1450	
	幅		950	1350	
	奥行		340	600	
製 品 質 量		kg	76	145	
冷 媒 封 入 量			11.0 (R407C)	12.0 (R407C)	13.0 (R407C)

- 備考
1. 冷房能力及び電気特性は、日本工業規格 (JIS・B・8615) 条件によります。
 2. 運転音はJIS規格に準拠し、反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据え付けた場合は、周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。なお、室外ユニットは本体前方1m、高さ1mにて測定した値です。
 3. 冷媒封入量には配管分は含みません。

ASP425DC1, 600DC1

室内ユニット

(50/60Hz)

		単 位	ASP425DC1	ASP600DC1
電 源			3相 200V	50/60Hz
冷 房 能 力			37.5/42.5	53.0/60.0
圧縮用電動機		kW	5.5×2	7.5×2
送風用電動機			2.2	3.7
補助電熱器			—	
消費電力			14.9/18.1	20.7/25.8
運 転 電 流		A	50.4/56.8	69.3/77.9
運 転 音		dB	63/67	64/68
風 量		m ³ /min	135/135	180/180
外形寸法	高 さ	mm	1870	
	幅		1650	1850
	奥 行		660	750
	分割できる高さ		1355+515	
製 品 質 量		kg	490	560
冷 媒 封 入 量			7×2 (R407C)	9×2 (R407C)

室外ユニット

(50/60Hz)

		単 位	AUCP212DC1 (2台)	AUCP300DC1 (2台)
電 源			3相 200V	50/60Hz
送風用電動機		kW	単相 0.1×2	
運 転 音		dB	56/56	
外形寸法	高 さ	mm	1450	
	幅		1350	
	奥 行		600	
製 品 質 量		kg	145	
冷 媒 封 入 量			12×2 (R407C)	13×2 (R407C)

- 備考
1. 冷房能力及び電気特性は、日本工業規格 (JIS・B・8615) 条件によります。
 2. 運転音はJIS規格に準拠し、反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据え付けた場合は、周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。なお、室外ユニットは本体前方1m、高さ1mにて測定した値です。
 3. 冷媒封入量には配管分は含みません。

高圧ガス保安法に関する事項

下表の製品は、高圧ガス保安法に基づき、冷媒ガスの圧力を受ける部分の材料・構造を遵守し、圧力試験が実施されています。

冷媒ガスの圧力を受ける部分の部品を交換又は修理される場合は資格（冷凍機器製造事業所）のある事業所に依頼されるようお願い致します。

保安上の明細は次の通りです。

機 種		ASP212DC1	ASP300DC1
法定冷凍トン	50Hz/60Hz	2.69/3.25	3.59/4.33
冷 媒		R407C	
冷媒充填量	kg	室内7.0+室外12.0	室内9.0+室外13.0
許 容 圧 力	(高圧部)	MPa	3.3
	(低圧部)	MPa	1.6
高圧遮断装置の設定圧力		MPa	3.24
圧縮機	台 数		1
	形 名		CB80H CB100H
許 容 圧 力	MPa		1.6
凝 縮 器	台 数		2
	形 式		プレートフィンコイル式
許 容 圧 力	MPa		3.3
溶 栓 の 口 径	mm		5.56
溶栓の溶融温度	℃		75
その他の容器	品 名		アキュムレータ
	許 容 圧 力	MPa	1.6
	溶 栓 の 口 径	mm	—
溶栓の溶融温度	℃		—
機 器 製 造 事 業 者		三菱重工株式会社	

機 種		ASP425DC1	ASP600DC1
法定冷凍トン	50Hz/60Hz	5.38/6.50	7.18/8.66
冷 媒		R407C	
冷媒充填量	kg	室内7.0×2+室外12.0×2	室内9.0×2+室外13.0×2
許 容 圧 力	(高圧部)	MPa	3.3
	(低圧部)	MPa	1.6
高圧遮断装置の設定圧力		MPa	3.24
圧縮機	台 数		2
	形 名		CB80H CB100H
許 容 圧 力	MPa		1.6
凝 縮 器	台 数		2×2
	形 式		プレートフィンコイル式
許 容 圧 力	MPa		3.3
溶 栓 の 口 径	mm		5.56
溶栓の溶融温度	℃		75
その他の容器	品 名		アキュムレータ
	許 容 圧 力	MPa	1.6
	溶 栓 の 口 径	mm	—
溶栓の溶融温度	℃		—
機 器 製 造 事 業 者		三菱重工株式会社	

備考1. 冷媒封入量には配管分は含まれません。

2. 据え付けの際に現地で冷媒配管を施工した設備は配管施工部分の気密試験を3.3MPaで実施願います。

電気ヒータの取り付けに際して

電気ヒータについて

- △警告 電気ヒータを取り付けられる場合は、弊社純正品を必ず使用してください。
純正品の購入については、本機お買い上げの販売店にご相談ください。

取り付けについて

- △警告 電気ヒータの取り付けは専門の知識・技術を必要としますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。
誤った取り付けをされますと感電、火災などにつながるおそれがありますので特にご注意ください。

消防署長への届け出について

お願い

本機が下記のいずれかに該当するような場合、電気ヒータの取り付けを計画されるお客様は、あらかじめその旨所轄消防署長に届け出て審査を受けなければならないよう各市町村の火災予防条例で決められています。所轄の消防署にご相談され所定の手続きをしてください。

■届け出の必要な場合

1. 風道（ダクト）を使用する場合。
2. 劇場、映画館、演芸場、観覧場、公会堂、集会場、カフェー、キャバレー、ナイトクラブ、遊技場、ダンスホールなどで使用する場合。
3. 最大消費熱量が69.8kW以上になる場合。

（注）上記「届け出の必要な場合」は、各市町村の火災予防条例により異なる場合がありますので、所轄の消防署にお問い合わせください。

電気ヒータについてのお願い

電気ヒータ用ヒューズが働いた場合は、必ずお買い上げの販売店に点検整備をご依頼ください。

電気ヒータ用ヒューズは、万一の異常時に火災等の災害を防止する重要な保護装置です。

●お客様メモ●

サービスをお申し付けになるときは次のことをお買い上げの販売店にご連絡ください

- ユニットの形式名は？
- ユニットの製造番号は？
- 故障の内容は？———どのような状態でどうなりましたか。

お客様メモ

ご購入店名

担当者

電話番号

ご購入日

年

月

日



冷熱事業本部 〒452-8561 愛知県清須市西枇杷島町旭三丁目1番地